

# 大阪府市場だより



第371号 令和5年1月27日  
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）  
 連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp  
 U R L https://fu-ichiba.jp



絵：「まぐろ」

## 常駐代表者会議

標記会議（三木博司議長）が、新年互礼会を兼ねて、1月5日に管理棟7階で開催されました。

その議事概要は次のとおりです。

### ○新年の挨拶

植田孝市場協会理事長が出席され、「旧年中は厳しい状況が続いたが、現在も

依然、ロシアの侵攻など厳しい状況が続いている。



こういった海外の動きはともかく、我々業界としては、目前のやるべき事にチャレンジしていかねければならない。北部市場にとって、今年が開場45周年という節目の年であり、同時に建替えに向けた大切な年になる。

いつも言っているが、「自粛はしても萎縮はするな」という姿勢で何事にも取り組みたい。令和5年が北部市場の発展となるよう皆さんと一致団結して頑張つてまいる所存。」と新年の挨拶をされた。



次に、中村場長が大阪府知事の祝辞（次頁に掲載）を代読された。

### ○年末の市況報告

各社・団体より標記の報告が行われた。総じて入荷量が少なく、その分、価格が上昇するという状況になった。

## 《初市入荷量》

	令和5年		前年比
	数量(kg)	前年	
野菜	416,500	449,500	107.9%
果実	163,400	161,300	98.7%
青果合計	579,900	610,800	105.3%
生鮮	88,200	85,200	96.6%
冷凍	6,000	8,200	136.7%
加工	50,500	39,300	77.8%
水産合計	144,700	132,700	91.7%

### ○北冷からの報告

冷蔵庫の経営状況と値上げについて、1月16日に説明会を開催するとの報告がなされた。

### ○府からの報告

茨木市の事業活動支援給付金について紹介された。

再整備基本計画（たたき台）の説明会を1月13日に行つとの報告がなされた。

### ○衛検からの報告

2月に各社・団体と食品衛生検査業務検討会を実施する。

### ○管理センからの報告

令和4年8月から12月で5件の同一犯によるゴミの不法投棄について、13日から19日の入場禁止措置を実施。

7日に茨木恵美須神社にマグロと野菜を奉納。

### ○協会からの報告

1月20日に、茨木警察署の交通課から講師を派遣してもらい、安全運転講習会を開催する。

**食中毒**  
**防ごう!! 化学物質による食中毒**

食中毒は、細菌性やウイルス性のものだけではありません。消毒薬等の化学物質を原因とする食中毒も例年発生しています。

**【事例① 漂白剤入サワー】**  
サワーシロップのペットボトルに「殺菌」と手書きし、漂白剤の容器として再利用。通常はシンク付近に保管していたが、事件当日は他の食材と一緒に冷蔵庫内に入れられていたため、サワーシロップと誤って使用し提供(令和3年4月)

**【事例② 除菌洗浄剤入茶漬】**  
焦げつかせた鍋に洗浄剤を入れ、だし汁の入った鍋の横に放置。別の配膳係が洗浄剤をだし汁と誤って茶漬として提供(平成30年11月)

**【事例③ 油洗浄剤入いも煮】**  
食用油とよく似た容器・色の油専用洗浄剤を食用油と間違え、いも煮の調理に使用して提供(平成20年11月)

いずれの事件も薬剤の誤使用によるものです。薬剤の保管場所は決まっていますか? 作業場に何が入っているかわからないペットボトルはありますか? 洗浄中の鍋等を不用意に放置していませんか?

次の対策を徹底し、消毒薬等の化学物質による食中毒を防ぎましょう。

**【対策】**  
☆洗浄剤、殺菌剤等の薬剤は、保管場所を決め、食品と同じ場所に置かない。

☆洗浄作業中の調理器具は置き場所を決め、注意喚起のメモを貼るなど従業員全員がわかるようにする。

☆ペットボトルや空き瓶等を再利用するときは、ラベルを取り除き、容器包装に内容物の名称を記入する。



**【参考】**  
令和3年6月に施行された改正食品衛生法施行規則では、下記のとおり定められています。

(別表第十七抜粋)  
洗浄剤、消毒剤その他化学物質については、取扱いに十分注意するとともに、必要に応じてそれらを入れる容器包装に内容物の名称を表示する等食品又は添加物への混入を防止すること。  
(別表第十九抜粋)  
施設で使用する洗浄剤、殺菌剤等の薬剤は、食品等と区分して保管する設備を有すること。

**大阪府新型コロナウイルス対策本部会議からの要請**  
(令和4年12月27日から当面の間)

**【府民の皆様へ】**

- 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底
- 早期のワクチン接種(こどものワクチン接種を含む)を検討すること
- 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザとの同時流行に備え、高齢者等はインフルエンザワクチン接種を検討すること
- 高齢者の命と健康を守るため、高齢者及び同居家族等日常的に接する方は、感染リスクが高い場所への外出・移動を控えること
- 旅行等都道府県間の移動は、感染防止対策を徹底し、移動先での感染リスクの高い行動を控えること
- 高齢者施設での面会時は、感染防止対策を徹底すること
- 高齢者の同居家族が感染した場合、高齢者の命を守るため、感染対策が取れない方は積極的に宿泊療養施設において療養すること
- 会食を行う際は、以下のルールを遵守すること  
・ゴールドステッカー認証店舗を推奨  
・マスク会食の徹底

**【企業の皆様へ】**

- オミクロン株対応ワクチンの早期接種を検討するよう周知徹底すること
- 療養証明・陰性証明の提出を求めないよう周知徹底すること
- 在宅勤務(テレワーク)の活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを進めること
- 休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること
- 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクのある従業員、妊娠している従業員、同居家族に該当者がいる従業員について、テレワークや時差出勤等の配慮を行うこと
- 業種別ガイドラインを遵守すること

**BCP 伝達訓練**

阪神・淡路大震災から28年となる1月17日、地震等の災害発生時に、場内事業者から場内の被害情報を府・管理ターに集約する伝達訓練が実施されました。

**来月のお知らせ**

○ポータリング大会  
2月17日(金)にポータリング大会が開催されます。奮っての参加をお待ちしています。

○食品衛生検査業務検討会  
標記検討会を食品衛生検査所と食品衛生部会との共催で、場内業者対象に、2月中で4回開催します。

○府議会2月定例会  
2月22日より開催される標記において、令和5年度の市場の予算案が審議されます。



《4月〜12月・累月》

種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
野菜	82,016	93.4	17,958,941	99.3
果実	35,597	93.4	15,068,235	102.6
小計	117,612	93.4	33,027,175	100.8
生鮮水産物	11,258	82.7	12,296,345	106.3
冷凍水産物	1,731	94.0	2,690,481	107.7
加工水産物	7,006	85.3	8,789,062	98.6
冷凍食品	2,504	85.8	1,359,391	88.6
小計	22,499	84.6	25,135,279	102.5
総計	140,111	91.9	58,162,454	101.5

《12月・単月》

種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
野菜	9,821	93.7	1,954,068	91.7
果実	4,947	94.9	2,230,901	101.7
小計	14,769	94.1	4,189,968	96.8
生鮮水産物	1,242	79.4	1,903,329	103.6
冷凍水産物	283	97.9	639,044	107.1
加工水産物	865	82.6	1,320,265	109.3
冷凍食品	281	84.6	182,059	91.5
小計	2,671	82.6	4,044,696	105.3
総計	17,439	92.1	8,234,665	100.8

**卸売業者取扱高**



### マグロの初競り

令和5年の初競りが5日早朝4時15分から行われました。



### 水産新年互礼会

標記互礼会が1月5日の4時40分より、せり場で開催されました。

吉田水産物卸協同組合副理事長の司会のもと、花木(株)大水北部支社長が「昨年は厳しい環境が続いたが、今年は必ず改善すると信じて頑張ろう」と挨拶されました。



続いて中村場長が「今年、建て替え再整備の基本

### 北冷の説明会

16日の午前、青果と水産の事業者を対象に、冷蔵庫の料金アップについて、府も同席のうえ、説明会が開催されました。北冷から、電気代高騰に対応するため4月より、保管料及び荷役料について、本棟は20%、高架下と西は10%のさらなる値上げをお願いしたいとの話がありました。

利用者から、「仲卸の経営状況は厳しく受け入れられない。府で支援できないのか。」といった意見のほか、「なぜ老朽化した冷蔵庫の家賃が下がらないのか。」「電気代だけを別に切り出せないのか。」といった質問が出ました。

府からは、「すでに支援を実施しており、今年度の電気代高騰分と来年度見込まれている分を合わせても5割以上の額を支援している。老朽化に伴う大規模改修に加えて、売上高の減少により使用料の前提としていた収入が減少、多額の累積赤字の存在などもあり、使用料は下げられない。」といった話となされました。

計画策定に取り組み。」といった挨拶をされました。

最後に川辺(株)つおいち北部支社長の音頭により、ジューズ・コーヒーによる乾杯が行われました。

### 市場再整備の検討

令和5年1月13日に管理棟7階大会議室で、市場再整備基本計画(たなきα)について開設者からの説明会が開催されました。ポイントは、次のとおりです。

#### ○機能と施設規模

現在の取引形態等を踏まえ、卸売場や仲卸売場の必要面積を精査するとともに、不足する荷捌場や低温保管施設等の面積を充実させるほか、ハブ市場化に必要な荷捌き、積替え、転配送などの機能強化に必要な面積を確保することです。

#### ○余剰地活用

施設規模の適正化や施設配置の工夫により創出した余剰地を民間事業者に賃貸することで、建替え費用の財源とし、市場の使用料の引上げ抑制につなげたいとのこと。

#### ○ゾーニング

青果・水産を別棟で各3階建てとする案や、青果・水産を一棟で2階建てとする案、青果・水産を別棟で1階建てとし、その上に民間収益施設を合築する案の3案が提案されました。

#### ○概算整備費と使用料

整備費は約700億円と見積もられ、これに50年間の市場管理運営費を加えた総事業費をまかなうためには、現在の使用料の概ね1.4倍から1.5倍を50年間徴収する必要があるとの試算結果が出されました。

#### ○整備スケジュール

青果・水産分棟の場合、最短で令和10年に工事着手し、令和16度中に全面開業になることが示されました。

#### ○その他

今後の検討課題として、環境に配慮した施設整備やICT等を活用した物流効率化、さらに民活事業手法や府民に開かれた市場づくりなどが挙げられています。

今後は、1月下旬から始まる再整備検討会議や分科会で、場内事業者と意見交換が進められ、秋頃を目途に意見集約・関係者の合意を図り、来年度末に計画を完成させる予定とのこと。



### PBL 発表会

1月17日、大阪成蹊大学食ビジネスコース2年生26名が、PBL(課題解決型学習)のとりまとめを同大学内で発表しました。今回のPBLは、「新しい青果物売場を作ってみよう!」をテーマに販売促進を目指すものです。

学生のみなさんは、事前学習(市場概要、異物混入対策、陳列技術、POP理論等)及び事前リサーチ(客層、野菜の時期等)をもとに「鍋物フェア売場」を企画。京阪百貨店すみのどう店において、バックヤード、品出し、店頭の3グループに分かれて売場実習を行いました。この結果、販売額が増加するなどの効果が見られた一方で、品出しや接客の改善点などが判明しました。

林田商店並びに府からは、売場の工夫に気付くための着眼点や、PBLの経験を活かすヒントなどが講評されました。



(協力:林田店)



## 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会理事長 植田 孝

新年明けましておめでとうございます。令和5年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げますとともに、旧年中に賜りました当協会に対するご支援・ご協力に心より厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、気候変動による局地的大雨などが多く、被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

そして、新型コロナとウクライナ戦争です。ウクライナの登場により重症化リスクは減っていましたが、これからはウイズコロナのもと、特に食品を扱う我々には、引き続き注意深い取組みが求められます。

戦争によるエネルギー価格の高騰などコスト高の圧力が強まるなかで、飲食店を始めとする多数の納入先が経営悪化しており、当市場内事業者にとっても厳しい状況が続いています。

また、昨年6月、私の盟友であり、当市場を長らく牽引してくれた山口前管理委員が急逝されました。全国初の市場への指定管理制度の導入など数々の実績を残された同氏が亡くなられたことは、これから正念場を迎える市場、ひいては府にとっても大きな痛手です。

昨年はなかなか前に進み難い状況が続きましたが、府民の食を支える公的施設として、立ち止まっているわけにはまいりません。

一昨年10月に、吉村知事が府議会で建替えに向けた検討を表明され、昨年は府において基本計画の検討が進められました。今年、開場45周年を迎える記念すべき年であり、また、建替えに向けた基本計画が取りまとめられる年となります。

恵まれた立地条件など当市場の強みを最大限に発揮し、将来の市場の発展、ひいては府民への最大限の貢献に繋げられるよう、府とともに我々も一致団結してこの難題に取り組み所存です。

今年の干支は「卯」。兎の如く、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われています。

何はともあれ戦争が一日も早く収束すること、皆様の本業が昨年を大きく上回る盛況を実現すること、そして、ウイズコロナということ、市場の各種行事を簡素化することは止むを得ないところですが、全ての行事が支障なく進められることを心より願っております。

結びにあたり、大阪府、茨木市、国会議員、府議会議員各位のご指導・ご支援、市場関係各位のご協力を切にお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして、良い一年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

市場関係者の皆様におかれましては、日々、生鮮食品の安定供給に大変ご尽力をいただいておりますこと、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、ウクライナ情勢によるエネルギー危機や物価高騰などが私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

本府では、府民の命と暮らしを守ることを最大の使命として、感染防止対策や物価高騰対策を切れ目なく実施し、府民や事業者の皆様とともに困難に立ち向かってきました。

一方で、2025年の「大阪・関西万博」の1,000日前イベントや、御堂筋オクタムパーティが3年ぶりに開催されるなど、大阪の街にもにぎわいが戻ってきた1年でした。

2023年は、新型コロナウィルス感染症や物価高騰への対策を着実に進めるとともに、大阪・関西万博のインパクトを最大限に活かし、さらなる大阪の成長・飛躍

## 大阪府知事

に向けた土台づくりに果敢に挑戦します。

さて、大阪府中央卸売市場は、今年で開設45年の節目を迎えますが、コロナ禍等による府民の消費行動の変化に加え、流通形態の多様化や情報通信技術の急速な進展など、市場を取り巻く環境の変化への対応が求められています。

このような中、現市場の強みを生かしながら、食品流通の一大拠点として様々なニーズに応えられる新市場をめざして、昨年4月から、民間資本を活用した建替え

再整備の具体的な検討を進めているところです。

今後とも、府市場が、大阪の成長・発展の基盤となる都市インフラの一翼を担い、府民への安全・安心な生鮮食品の安定供給の機能を十分に発揮できるよう取り組むとともに、建替え再整備に向けた検討を精力的に進めてまいりますので、引き続きよろしく申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実りある素晴らしい年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。





### 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場長 中村 昌也

新年明けましておめでと  
うございます。

令和5年の新春を迎え、謹  
んで新年のお慶びを申し上  
げます。

まして格別のご理解・ご協力  
を賜り、厚くお礼申し上げ  
ます。

ことにより、街の賑わいも  
一定戻りつつあり、明るい  
兆しが見え始めたところ  
です。

みずのう

昨年は、新型コロナウイルス  
又感染症が収束しない中、  
世界情勢の不安定化や急激  
な円安による農水産物の  
輸入量の減少、物価の高騰な  
ど、厳しい状況が続き  
ました。

一方で、新型コロナウイルス  
又感染症拡大防止のため  
の行動制限が一部緩和され

今年も、  
「これまでの努力が実を  
結び、勢いよく成長し飛躍  
するようにならねば」と考え  
られており、「コロナ禍で厳し  
い状況の続いた市場関係者  
の皆さまにとって、大きく  
飛躍する年になるよう、願っ  
てやみません。」

さて、当市場は、本年5月  
で開設から45年の節目を  
迎えますが、市場を取り巻く  
環境は、少子高齢化の進展や  
消費者ニーズの多様化に  
加え、生鮮食料品の流通構造  
も年々高度化、複雑化して  
おります。

本年も、大阪府中央卸売  
市場がその機能を十分に  
発揮するとともに、府民の  
皆さまへ安全、安心な生鮮  
食料品を安定的に供給でき  
るよう、市場関係者の皆さま  
方と一体となって、取り組ん  
でまいりますので、引き  
続き、ご理解、ご協力をよろ  
しくお願いいたします。



### 市場の新しい景色を夢見て

大阪府中央卸売市場管理センター(株) 代表取締役 植田 孝

産を失った残念な年でもあ  
りました。

こうした中、全取締役のご  
推挙を受け、また、山口さん  
との生前のご厚誼をもって  
後任の代表取締役という  
大役をお受けいたしました。

開場45周年という新しい  
年を迎えるに当たり、決意を  
新たにし、同氏の意志を受け  
継ぎ、市場の更なる発展に全  
力を尽くしてまいります。

同氏が提唱し、長年の悲願  
でありました市場の全面建  
替えについては、去る13日、

その基本計画の大綱ともい  
うべき「たたき台」が府から  
示され、今後、各分科会にお  
いて核心に迫る議論が本格  
的にスタートいたします。

新市場の整備に当たって  
は、机上の図面ではなく、  
場内事業者を始め市場関係  
者の使う側の意見やニーズ  
を十分に反映させることが  
肝要です。府議会でも提言さ  
れているとおり、数十年先を  
見据えた全国に類を見ない  
魅力ある市場となりますよ  
う、府を始めとする関係先と

十分に協議・連携し、次世代  
に胸を張ってパトインタッチ  
ができるものとなりますよ  
う努めてまいります。

翻って、管理におきまし  
ては、昨年は指定管理者とし  
て第3期目のスタートを切  
り、また、市場の管理運営  
業務を担い足掛け11年にな  
ります。この間、常に市場関  
係者のニーズを踏まえ、スピ  
ード感をもって、効率的に事  
務事業を執行するとともに、  
市場の競争力を高めるため、  
府市場ならではの特色ある  
市場活性化事業をハード・  
ソフト両面にわたって積極  
的に進めてまいりました。

「指定管理者評価委員会」に  
おきまして、すべての評価項  
目で最高ランクの評価をい  
ただきました。このことは、  
オール府庁で初めてとなる  
快挙であり、国や他市場から  
も先進事例として注目され  
ているところです。

卯年は新しいことに挑戦  
するに最適な年と言われて  
いますが、こうした成果に甘  
んじることなく、初心に立ち  
返り、一層の緊張感をもって  
市場運営に取り組み、市場の  
「新しい景色」が見られるよ  
う全力投球してまいります。  
皆様方の一層のご支援、ご  
協力を賜りますようお願いし  
たいです。引き続き、新年  
のご挨拶といたします。



**コールドチェーンの一端を担う**  
**(株)北部冷蔵サービスマスター**  
**代表取締役社長 巽 計廣**

新年あけましておめでとうございます。  
 旧年中は場内の皆様方には当社の業務運営にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。心より

お礼申し上げます。  
 昨年はアメリカ力での大谷選手活躍やサッカーワールドカップでのドーハの歓喜など日本人アスリートの活躍に湧いた年でありました。

しかし未だに新型コロナウイルスの終息は見えず、異常気象に見舞われ、とりわけロシアのウクライナ侵攻以降円安も伴い、食品、エネルギーなど全体バランスが崩れて大多数の物が値上げされるなど、生活の隅々の物まで世界と繋がっていることを思い知らされた年でありました。とりわけ当社としましては原油、エネルギー関連の高騰

による電気代値上げの影響をもちに受け経営自体が危ぶまれる状況に陥っています。このような状況を踏まえ、改めて関係者の意見を聞いたところ、市場に冷蔵庫は必要、事業形態は変えないなどのご意見をいただきましたが、経営継続に向け、更なる保管料、荷役料、貸倉庫料の大幅な値上げをお願いせざる負えない状況になっております。

当社を取りまく環境は、仲卸の減少や当社売上に直結する市場取扱い数量の減少、さらには電気代金の更なる値上げと残念ながら厳しい状況が続くと見込まれます。しかしながら、公的役割を担う中央卸売市場の基盤となる冷蔵庫の存続に向けて努めて参りますので、関係各位のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

**茨木神社で奉納祈願**

協会（植田孝理事長）では、商売繁盛を祈念して、1月7日の早朝、茨木恵美須神社に、16回目となる招福大マグロと青果物（メークイン、玉ねぎ、白菜、りんご、みかん）を奉納しました。



奉納品は、大庄水産（山口達也社長）と青果卸売協同組合（西田景典理事長）にお世話いただいたもので、午前8時に、法被姿の関係者15人が恵美須神社の拝殿に運び込みました。奉納式では、関係者が参列する中、宮司のお祓い、祝詞に続いて代表者が玉串を奉奠し、全員で商売繁盛を祈願しました。

**宝恵籠の場内巡行**

1月11日の9時半頃、地元茨木神社の恵美須講の福娘5人をはじめ「宝恵籠」一行約30人が来場しました。まず、今村恵美須講元から訪問の挨拶があり、次に中村場長が一行に歓迎の挨拶をされました。

その後、一行は打ち鳴らされる太鼓と鉦に合わせ、「商売繁盛で笹もってこい」の掛け声を響かせながら、青果卸売場から水産卸売場を練り歩きました。ご祝儀の申し出の際には、福娘から奉納者に福笹が手渡され、今年一年の「招福来幸・商売繁盛」を祈念して関係者全員で一本締めが行われました。



**安全運転講習会**

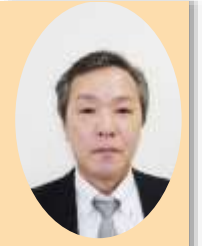
20日に、管理棟7階の大会議室で、11時より30名弱が参加して、茨木警察署交通課の平木係長を講師にお招きし、標記講習会を開催しました。

係長からは、事故の発生状況と最近の事故の発生例、その対策などについて話がありました。特に、実際の事故の映像を使った説明には、受講者から驚きの声が出ていました。

最後に、食品流通の物流施設の稼働により、トラックが増加することについて、警察としても注視して取り組むとの話がありました。







環境変化への対応

(株)大水 執行役員  
北部支社長 花木 章男

新年明けましておめでとうございます。  
謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、旧年中に賜りましたご厚情に御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、ロシアのウクライナ侵攻、円安による物価上昇等、世界情勢は、一気に不安定感を増すこととなりました。

我々水産業界においても、円安による輸入商材の価格高騰に加え、温暖化、諸外国との競合、国内水産物の漁獲不安定等により、異常な迄の魚価の高騰を招き、非常に厳しい、変化の激しい一年となつてしまいました。  
このように市場を取り巻く環境は、水産物の生産、流通、消費に至る迄、世界規模でより一層の変化、多様化が

進むでしょう。我々は、このような変化を確実に捉え、迅速な対応を図る事を念頭に置いた「考動」をする事を重視し、生鮮食料品の安定供給を目指していきます。  
一方、府市場は、本年、開場45周年の節目を迎え、いよいよ市場施設建替えを前提とした再整備基本計画の検討が開始されます。  
大阪府・管理<sup>ターセン</sup>様を基軸と

し、市場関係者の皆様方と協力し、食品流通の拠点として、府市場の利点を生かし、将来の変化にも対応出来る市場つくりにも貢献出来るように取り組んでまいります。  
結びに、本年も皆様方には変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



コロナ禍を乗り越えて

大阪府青果卸売協同組合  
理事長 西田 景典

令和5年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますととも、「皆様方におかれましては恙なくご家族お揃いで健やかに新春を迎えられましたこと心からお慶

び申し上げます。また、平素のご高誼に對しまして厚くお礼申し上げます。  
昨年も、コロナ禍による影響でエネルギーの需要と供給のバランスが崩れ、エネ

ルギー価格が高騰し世界的情勢は混乱を深め、我が国も電気・ガス等の値上げにより国民の生活にも多大な影響を及ぼしています。新型コロナウイルス感染症も、未だに変異株により悩まされ落ち着きのない生活ですが、今後は「ウィズコロナ」に向けてワクチンの定期的な接種や感染防止対策の徹底を行い社会経済活動を回していく事

も当然重要に成っていくと考えます。  
最後に、本市場につきましては老朽化が進んだことから、府において建替えに向けて基本計画の検討が進められております。当組合としても主張すべきことはしっかりと主張すべく府等と議論を重ねて、少しでもこの市場がより良い形で発展していきまます様に努めて参ります。

本年も、安全・安心な生鮮食料品の安定供給について府民の信頼と期待に出来る流通拠点としての役割を果たせるよう一層努力して参りますので、皆様方の変わらぬご支援、ご鞭撻の程をよろしくお願ひ申し上げます。  
結びに、本年が皆様方にとってよりよい年になりますよう祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



市場の命運を賭けて

大阪府水産物卸売協同組合  
理事長 榎本 昭弘

昨年、スポーツ界では「村上様」や「歡喜」など大きな希望を与えていただきましたが、新型コロナウイルスの第8波に加え、円安やウクライナ危機など経営の足かせになる新たな事態

が発生し、業界としては依然息苦しい年となりました。  
このような状況において、組合員の皆様方には、必死の経営努力により何とか持ち堪えていただいておりますが、

今後、「ゼロゼロ融資」の返済期限が本格的に到来し、また、電気代の高騰等により経営は一層厳しくなるものと思われ  
こうした厳しい経営環境のもと、組合として、組合員の皆様方が希望をもって商売に専念し、難局を乗り越えることができまますよう最大限の支援を行ってまいります。  
とりわけ、高騰が続く電気

代につきましては、国の経済対策による減額制度の実効性も見極めながら、府においても何らかの支援措置を検討していただけるよう市場関係者と協働してまいります。  
市場の命運を分ける全面建替えは、販路拡大に繋がる絶好のビジネスチャンスとして、「品質(温度管理)・荷の流れ(使い勝手)」「加工機能の充実」「使用料の抑制」をキーワ

ードに、組合員の意見が十分に反映され、全国に誇れる新市場となりますよう全力で取り組んでまいります。  
今後とも、組合運営に対し一層のご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、今年こそ皆様方にとりまして「フッポ」な年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



**景気の好循環に期待を込めて**  
大阪北部中央青果(株)  
代表取締役社長 三木 博司

新年明けましておめでとうございます。  
謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に賜りました格段のご支援、ご協力に対し、心より厚く

御礼を申し上げます。  
昨年はロシアによるウクライナ侵攻、中国のゼロコロナ政策による都市封鎖、為替の大幅な変動など世界情勢が変化しました。日本国内では

国外の影響により、車をはじめ工業製品の生産が停滞し、輸入原材料価格が上昇しました。製造業者は原材料価格の上昇を理由に値上げに踏み切り、食料品の値上げは年間2万点を超えました。青果物の生産・流通においても、生産時の肥料・農薬や燃料費など経費が高騰し生産者の経営を圧迫しています。  
政府・日銀が物価上昇率

2%目標を掲げて二十一年が経過しました。昨年後半に月間では超える月がありました。金融緩和が継続しています。二年間続いた新型コロナナ感染症予防を目的とした行動制限が、昨年後半からなくなり、人の動きも徐々に戻ってきています。大阪では令和7年4月に万国博覧会が開催され、華やかな機運が高まり、

物価と共に所得も上昇する景気の好循環の始まりになればと思います。私たちはオイルショックやバブル崩壊も乗り越ってききました。過去の経験を生かし日本全体の景気が良くなることを期待します。  
年頭にあたり、関係各位のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げますと共に、尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



**変化へのチャレンジ**  
大果大阪青果(株) 専務取締役  
北部支社長 酒井 孝博

新年明けましておめでとうございます。  
令和5年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。  
昨年2月24日、ロシア軍

世界中の流通が一変し原油(天然ガス)・食糧・原材料費の価格高騰、又国内では、円安も重なり食料品の値上げが相次ぎました。ウイズコロナも定着しつつありますが第8

波に入り行動に対する不安感はまだぬぐえません。スポーツの世界では、冬季北京オリンピックに始まり、ワールドカップカタル2022と日本選手団の活躍で歓喜に包まれ、やれば出来るという明るい未来志向となったのではないのでしょうか。  
青果業界に於いても、円安・ウクライナ問題の影響が大きく燃料・電気代金の高騰が

私共の経営を圧迫し、又産地に於いても資材・肥料・燃料費の高騰が農家経営を圧迫しています。今こそ国産産、国産青果物の大事さを認識し、輸入品に頼らない食生活構築に移行する時期ではなからうかと思えます。  
令和5年より新たに市場建替基本計画の議論がスタートします。故山口社長の意思を継ぎ植田社長の下で将来を

見据えた誰もが使いやすい市場になる様、頑張っていく所存です。  
我々市場は日本の食を守る唯一無二の存在である事を自負し、時代に合った流通構築の為「チャレンジ」「日々改善」に取り組み、皆様方と共に市場発展の為に努力して参りますので、尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



**市場再整備基本計画の合意に向けて**  
(株)うおいち 執行役員  
北部支社長 川邊 浩一

新年明けましておめでとうございます。  
令和5年の新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
昨年は、コロナウイルス第7波の猛威による感染拡大、

2月にはロシアによるウクライナ侵攻、24年ぶりの円安水準等で輸入物を中心に価格高騰となり、水産卸業界も大変苦戦を強いられました。国内水産物の状況に於いて

も国内養殖物の高値推移、気候変動による天然魚の漁獲量の減少、労働者不足、物流コストの上昇など厳しい環境下でありました。  
そのような中、RFAワールドカップ日本代表が厳しい状況下でも組織力で困難を打開できることを証明してくれたことは、私たちに大変勇気をもたらしてくれた出来事でした。

さて、本年は当市場の全面建替えに向けて基本計画が取り纏められる大変重要な年になります。老朽化した施設を刷新し、ハード面の機能強化を図れば当市場の好立地条件という強みがよりいっそう発揮されるものと考えます。  
弊社も基本計画の合意形成に向けて積極的に意見を申し上げます。しかしながら、建替え完

了までには10年を超す長い年月を要しますので弊社も独自に出来ることから衛生管理、品質管理の高度化を図り、市場のゴールドチェーン化にも協力させていただきます。  
関係各位の皆様には引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。